

バレンタインコンサートとてもたのしかったです。みんなよろこんでいました。

たくさんの方がリズムにのってたのしそでした。ピアノのえんそうもうたいながら、おしゃべりもしてくれて、きれいな人でよかったです。

わたしもピアノがひけたらいいなと思いました。一番よかったのは前にでてしき者のまねをさせてもらったことです。五人でて、さいごの人がすこしずれたりしたとき、みんなでわらいました。わたしもやりたかったですが、はずかしかったのでやめました。また、つぎもたくさんの人ときたいと思います。

たのしいバレンタインコンサートをありがとうございました。(わかたけ会 菊地 千津子)



会員向け学習会に参加して 東成区 小泉 いと子

当法人の理事である桃山学院大学教授 石田易司氏より、タイトル「障害者自立支援法が施行された今、障がい者が生きいきと暮らせるように」と題して講演して頂きました。

私たちが親として知っておきたい、また知っておくべき制度などをスクリーンにパワーポイントを使って説明して頂きました。



まず一番目として2012年6月に法案が成立して2013年4月から施行される「障害者総合支援

法」についてのお話しでした。この制度の理念は、(共生社会の実現)(どこで誰と生活するかについての選択の機会の保障)に置いてあり、障害者福祉計画立案でのニーズ把握を義務化、重度訪問介護の対象拡大、常時介護を要する障がい者の支援、移動支援・就労支援その他のサービスの在りかた、障害支援区分認定を含む支援決定の在り方などについて、3年間をめどにして検討しているということです。

その後2011年6月に成立した「障害者虐待防止法」についてお話しされました。障害者虐待が起こる要因として

- ・望まない出産や望まれない子供への苛立ち。
- ・配偶者の出産や子育てへの不協力や無理解に対する怒り。
- ・育児に対するストレス。
- ・再婚者の連れ子に対する嫉妬・憎悪。
- ・離婚後、新たに生計を共にする者(再婚者や内縁の夫・妻)との生活にとって邪魔に思う。

等があるそうです。お聞きする私たちにとって何となく理解できる要因ばかりだと思います。

お話しが進行する中で、次の行為は虐待だと思いますか?というアンケートにまず答えて、次に座席の隣の方とお話ししながら見直す時間がありました。

その作業の中で、自分にも固定概念で考えてしまっている面がかなりあると感じました。他の方の意見にも耳を傾けて話し合うことで気づくことも多くあり、グループセッションの大切さを改めて実感できました。

そして身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、経済的虐待、放棄・放置など、それぞれの生活環境の中で気がつかないまま見過ごされているのではないかと感じると共に、改めて自分だけでなく周りの皆さんと共に確認と予防を続けていきたいと思いました。

新成人と還暦を祝うつどいに参加して

東成育成園 榎本 真由美

平成25年1月19日(土)にキャッスルホテル大阪にて新成人と還暦を祝う集いが行われました。東成育成園からも2名の方が新成人として出席され私も同席させていただきました。今回は初めて府育成会と市育成会との合同開催という事でした。また、毎年行われていた新成人のお祝いに加えて還暦を迎える方のお祝いも同時に行われたこともあり、とても盛大な会となりました。

当日、会場に足を踏み入れると、たくさん並んだテ